

一般企業内定を辞退し晴れて自衛官へ

神奈川地方協力本部市ヶ尾募集案内所（所長 近藤1尉）は4月7日（土）、陸上自衛隊久里浜駐屯地で行なわれた入隊式（女性自衛官）に参列した。

奥野 芳佳（おくの よしか）自衛官候補生は、自衛隊の各種試験を受けながら就職活動をしていた時、広報官の松村海曹長に出会った。一般企業2社の内定を獲得しながら、教員になる道を模索していた時だった。自衛官候補生試験で補欠合格となり、繰上げ待ちの状態が長く続いた。奥野自衛官候補生は、教員免許を取得したものの、教員採用試験での合格は得られなかった。自衛官候補生は繰上げ合格が決まる前で大きな不安があったものの、一般企業の内定をすべて辞退し、自身の進路を自衛隊一本に絞ってくれていた。その後、平成30年早々に念願の合格を手にし、久里浜駐屯地に着隊、晴れて入隊式を迎えられた。

入隊式前の面会時には「就職先について迷っていた際、松村さんに親身に相談のってもらったことが自衛隊に入る決め手でした。繰り上がらなかつたらどうしようかと悩んでいましたが、本当に入隊できて良かったです」と話してくれた。そして、照れくさそうに紫紺の新制服で担当広報官と写真撮影を行なった。

市ヶ尾募集案内所は「広報官の努力が実った良い事例となった。今後、対象者や受験者に親身に寄り添い、1人でも多くの入隊者を獲得できるよう募集活動を行なっていきたい」としている。



奥野自衛官候補生入隊式

山田富士公園さくら祭り公安エリアに出展・募集広報活動

神奈川地方協力本部市ヶ尾募集案内所（所長 近藤1尉）は4月8日（日）、晴天の中、横浜市都筑区の山田富士公園で行なわれた「さくら祭り」に出展し、募集広報活動を実施した。

横浜市消防局や神奈川県警察も出展する公安エリアで、募集期間中の一般幹部候補生と一般曹候補生のPRを主とし、各試験の制度や違いについて来場者に積極的に紹介を行なった。学生や家族連れが多く訪れることから、5月に実施される防衛大学のオープンキャンパスや防衛医科大学校等の学校系の職種についても紹介を行なった。説明を受けた家族からは「自衛隊に医学科などの大学があることを初めて知りました。子供の進路先に考えてみたいです」と嬉しい言葉を頂いた。

当日は、市ヶ尾募集相談委員会の森井美智子氏や加藤恒雄氏も駆けつけ、募集パンフレット配布やパジェロ試乗のお手伝い等の支援を受けた。森井氏は、「息子も陸上自衛官であることから「自衛隊へ入れるとき不安はなかったですか」や「今、息子さんはどんな仕事をしているのですか」などの家族連れからの質問に親身になって対応し、親御さんたちから人気を集めていた。加藤氏は、さくら祭りへの出展についての調整や警察及び消防との橋渡しとなり広報担当者の紹介をして頂いた。

市ヶ尾募集案内所は「今回の出展で対象者情報を5件獲得することができたこと、警察及び消防の広報担当者や人脈を広げることができたことは今後につながる良い機会となった。地域密着の活動で継続的に自衛隊をPRし、志願者を獲得していきたい」としている。



所長近藤空1尉（右）と加藤相談員（左）



展示中のパジェロ